

## ワイン展 -ぶどうから生まれた奇跡-

### 【趣旨】

世界中で古くから愛されてきたワイン。美しい色と香りで私たちを魅了するワインは一体どのような過程を経て出来上がっているのでしょうか。本展では、そのひとしづくに隠されたストーリーを、多彩な資料と映像で科学的かつ歴史的に解き明かします。

本展の開催によって、ワインに対する理解が深まり、ワインが私たちの生活の中でより身近なものとして親しまれていく機会となれば幸いです。

### 【展示の概要】

#### 1、ワイナリーに行ってみよう

おいしいワインをつくる主役はなんといっても「ぶどう」。ワイン作りに適したぶどうを育てるために、ぶどう畑では色々な工夫がなされています。Zone1ではまず、冬の剪定から秋の収穫までのぶどう畑の1年をご紹介します。大事に育てられ収穫されたぶどうから、私たちが口にするワインはどのように出来上がっているのでしょうか。ここでは、破碎、発酵、压榨、熟成などの過程も、体験コーナーを交えながらわかりやすくご紹介します。博物館にいながらワイナリーを散策しているような雰囲気をお楽しみいただけることでしょう。



ぶどう畑の1年(演出イメージ)

#### 2、ワインの歴史

今では世界中で愛されているワイン。いつの時代から、どのように飲まれているのでしょうか？

また、どのようにこれほどまでに広まったのでしょうか。フランスやイタリアなどヨーロッパのイメージが強いワインですが、実はその歴史はコーカサス地方ではじまったとされ、ジョージアでは8000年前のワイン壺が発見されました。

Zone2では、古代オリエントから、地中海を渡り、またシルクロードを伝って、世界中に広がったワインの壮大な歴史を、古い酒器などの貴重な資料を交えながら辿ります。また現在、世界で話題をあつめる日本のワインの歴史についても、たっぷりご紹介いたします。



リュトン イラン、前4世紀頃  
(平山郁夫シルクロード美術館蔵)

### 3、ワインをもっと楽しむ

ワインの魅力は味だけに留まりません。

Zone3 では私たちが魅了するワインの色と香りの秘密に迫ります。同じ「ワインレッド」といっても、ぶどうの品種によって、濃かったり、淡かったり、澄んでいたりと濁っていたり・・・とても多様な表情をもっています。また、香りも、花や柑橘、ベリーなど、実に奥深い世界が広がっています。展示では体験コーナーも設け、その魅力の一端をご紹介します。また、エミール・ガレのグラスなど、美しい酒器やラベルアート、貴重なボトルも展示。多彩なワインの魅力、その美しさをご覧ください。



葡萄文栓付瓶

エミール・ガレ、1900年(サントリー美術館蔵)

#### 【開催概要】

- ・名称： ワイン展 ―ぶどうから生まれた奇跡―
- ・会期： 2015年10月31日(土)～2016年2月21日(日)  
※設営：10月15日(木)～10月29日(木)  
開会式：10月30日(金)  
撤収：2016年2月22日(月)～2月28日(日)
- ・会場： 国立科学博物館(東京・上野公園)
- ・主催： 国立科学博物館、読売新聞社、日本テレビ、BS日テレ
- ・後援： 文部科学省、アルゼンチン大使館、フランス大使館、フィンランド大使館、ジョージア大使館、イタリア大使館、ポルトガル大使館、スペイン大使館、アメリカ大使館
- ・協賛： メルシャン、サントリー
- ・協力： 日本ソムリエ協会、日本ワイナリー協会、植原葡萄研究所、酒類総合研究所、三越伊勢丹
- ・入場料： 一般・大学生：1,500円(前売/団体 1,300円)、小・中・高校生：500円(前売/団体 400円)